



文部科学省  
「日本型教育の海外展開(EDU-Portニッポン)」  
EDU-Portシンポジウム

# EDU-Portの成果と 新たな取組の始動

セッション1では、EDU-Port事業の過去10年間の歩みを振り返り、日本の教育の国際化・質的向上への効果に関する調査研究及びアフリカにおける日本型教育の展開に関する調査研究について報告いたします。

セッション2では、近年、国際的に重要性が指摘される非認知能力（学力だけでは測れない協調性、主体性等）と、「知・徳・体」のバランスを育む全人教育を特徴とする日本型教育に関する意見交換を行い、EDU-Port事業の新たな取組を展望します。

セッション終了後には、事業実施機関によるポスター発表を通じて、各国での具体的な取組や成果を紹介いたします。

2026 **2.27** FRI

日本時間 **13:30-16:00**  
(16:00-18:00 ポスターセッション)

場 所



文部科学省東館 3 階講堂

オンライン



Zoom

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3丁目2番2号  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/soshiki2/map.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/soshiki2/map.htm)

主 催 文部科学省

言 語

日本語(英語の同時通訳有)

## プログラム

13:00 開場・受付  
13:30 開会挨拶 文部科学省

### セッション1：調査研究報告「EDU-Port事業の日本の教育の国際化・質的向上への効果」「アフリカにおける日本型教育の展開」

13:40 「EDU-Port事業の日本の教育の国際化・質的向上への効果—これまでに実施された事業の報告書の分析・関係者へのヒアリングを通じて」 国立大学法人福井大学 連合教職開発研究科 教授 半原芳子、総合教職開発本部 特命講師 沼尻卓也  
13:50 「アフリカにおける日本型教育の展開—ガーナでの基礎学力向上への取組を通じて」  
株式会社公文教育研究会 ライセンス事業推進部 次長 鈴木麻里子

14:00 質疑応答  
14:10 休憩

### セッション2：次期EDU-Port事業「日本発国際教育プログラムの構築」を目指して

14:30 「新国際教育プログラムの構築」 文部科学省大臣官房国際課長 文部科学戦略官 平山直子  
14:40 「国際的な教育議論における非認知能力と社会情動的スキル」 ユネスコ国際教育計画研究所(IIEP) 技術協力部 部長 水野谷優  
14:55 「JICAによる全人的教育の実践事例の紹介」  
独立行政法人国際協力機構(JICA) 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第2チーム 課長 樋口創  
15:10 意見交換・質疑応答 進行役：東京大学 総長特任補佐/大学院教育学研究科 教授 北村友人  
東京大学公共政策大学院 教授 鈴木寛、文部科学省大臣官房国際課長 文部科学戦略官 平山直子、ユネスコ国際教育計画研究所(IIEP) 技術協力部 部長 水野谷優、国際協力機構(JICA) 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第2チーム 課長 樋口創  
15:55 10年間の振り返りと今後への期待 東京大学公共政策大学院 教授 鈴木寛  
16:00 閉会・ホワイエにてポスターセッション

参加費  
無料





### 半原 芳子

国立大学法人福井大学  
連合教職開発研究科 教授

2014年より福井大学において、教師教育および教育実践研究に従事し、外国人児童生徒等の教育や留学生教育を主な専門としている。現在は、EDU-Portニッポン事業において、アフリカ・アジア諸国との国際協働を通じた教師教育モデルの構築と、その国内還元に関する調査研究の事業責任者を務めている。



### 沼尻 卓也

国立大学法人福井大学  
総合教職開発本部 特命講師

開発途上国における教育開発を主な専門とし、JICA緒方貞子平和開発研究所およびエディンバラ大学の研究機関で研究活動を行ってきた。2023年より福井大学において、教師教育および教育実践研究に携わる。授業研究および専門職学習コミュニティを軸に、海外で蓄積された実践知が日本の学校教育や教員の力量形成にどのように還元されるかを探究している。



### 鈴木 麻里子

株式会社公文教育研究会  
ライセンス事業推進部 次長

2003年公文教育研究会入社。入社後に茨城県の公文式教室のサポート業務に従事後、本社部門で広報部、社長室を経て、2021年7月より現部署にてライセンス事業の新規事業開発に取り組む。バングラデシュにおけるBRACとの協働プロジェクト、法務省のSIB事業など、外部のパートナーと共に取り組む事業の推進を担っている。



### 平山 直子

文部科学省大臣官房国際課長  
文部科学戦略官

1994年文部科学省入省。スポーツ・青少年局競技スポーツ課国際スポーツ室長、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会スポーツ局次長、文化庁文化財第一課長、初等中等教育局健康教育・食育課長、文化庁文化経済・国際課長、文化庁企画調整課長、ユネスコ日本政府代表部公使などを歴任し、2025年7月より現職。



### 水野 谷優

ユネスコ国際教育計画研究所 (IIEP)  
技術協力部 部長

ユネスコ、ユニセフ、世界銀行などで25年以上にわたり、開発および緊急人道文脈において国際教育協力に従事。現在はバリのユネスコ国際教育計画研究所 (IIEP) にて技術協力部長として、教育計画、教育セクター分析、行政官の能力強化、教育データ活用、危機や紛争・気候変動に強靱な教育システム構築を主導。JICA海外協力隊OB。コロンビア大学ティーチャーズ・カレッジにて教育経済学博士号を取得。



### 樋口 創

独立行政法人国際協力機構 (JICA)  
人間開発部基礎教育グループ基礎教育第2チーム 課長

2005年にJICAに入籍。これまでに人間開発部基礎教育第1チームで東南アジアや太平洋地域の基礎教育分野のプロジェクト形成・運営・管理を担当したほか、同部高等・技術教育チームで拠点大学型プロジェクトのプロジェクト形成・運営・管理業務等に関わる。JICAインドネシア事務所とエジプト事務所への駐在経験あり。2025年6月より現職。



### 北村 友人

国立大学法人東京大学 総長特任補佐  
／大学院教育学研究科 教授

カリフォルニア大学ロサンゼルス校大学院教育学研究科博士課程修了。博士(教育学)。専門は、比較教育学、国際教育開発論。国連教育科学文化機関、名古屋大学、上智大学を経て、現職。東京都教育委員も務める。主な研究テーマは、(1) 途上国における教育政策や教育実践、(2) アジアにおける高等教育の国際化と「知識外交」、(3) 「持続可能な開発のための教育 (ESD)」を通じた市民性の育成。近著に『SDGs時代の教育』(編著、学文社)。



### 鈴木 寛

国立大学法人東京大学  
公共政策大学院 教授

東京大学法学部卒業。通商産業省、慶應義塾大学助教授を経て参議院議員(12年間)。文部科学副大臣(二期)、文部科学大臣補佐官(四期)などを歴任。教育、医療、スポーツ、文化、科学技術イノベーションに関する政策づくりや各種プロデュースを中心に活動。現在、ウェルビーイング学会副代表理事、Teach for All Global board member、日本サッカー協会参与、NPO法人日本教育復興連盟 (ROJE) 代表理事等を兼務。

## 参加申込み・問合せ先

下記URLより申込みフォームに必要事項を記入の上、ご登録ください。

<https://forms.gle/7MAebod5CApndJQq5>

こちらからもご登録いただけます



申込み締切： **2月25日(水) (日本時間) 正午**

問合せ先： EDU-Portニッポン事務局  
株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

E mail： [ml-eduport@k-rc.co.jp](mailto:ml-eduport@k-rc.co.jp)

電話： 03-3288-1164 / 070-4284-0592  
(平日10時～17時)

